

# 現場説明書

- 1 業務名 くりはまみんなの公園ほか地質調査業務  
2 監督員 環境政策部 公園建設課

## 説明事項

### 1. 入札等に関する事項について

- (1) この業務の入札又は見積(以下「入札等」という。)は、業務委託契約書又は業務委託請書(以下「契約書等」という。)、入札公告又は指名競争入札執行通知書及びこの説明書に記載する条件により、横須賀市の契約規則、契約履行規則及び工事等検査規則(以下「契約規則等」という。)に従って行う。
- (2) 入札等後は、設計書、仕様書及び図面(この説明書及び質問回答書を含む。以下「設計図書」という。)、契約書等若しくは契約規則等の内容又は施行場所の状況について、不明等を理由として異議の申立てはできないので、入札等前に十分究明すること。

### 2. 前払金について

前払金  する  しない  
前払金を受けようとする場合は、その旨を申し出ること。

### 3. 部分払について

部分払  する(  回以内)  しない

### 4. 継続事業に係る業務の各会計年度別支払限度額について

- (1) ~~継続事業に係る業務の各会計年度における委託代金額の支払限度額及び前払金の割合は、次のとおりである。~~

会計年度	支払限度額 (委託代金額に対する割合)	前払金
初年度( 年度)	%	支払限度額・委託代金額の%
第2年度( 年度)	%	支払限度額・委託代金額の%
第3年度( 年度)	%	支払限度額・委託代金額の%

- (2) 各会計年度における委託代金額の支払限度額は、受託者決定後業務委託契約書を作成するまでに受託者に通知する。

### 5. 契約に関する事項について

#### (1) 設計図書関係

- ア 土木工事等の場合における工種別等の契約数量は、設計書の数量の内訳書に表示された数量による。
- イ 仮設、工法等工事目的物を完成するために必要な一切の手段については、設計図書に特別の定めがある場合を除き、受託者の責任において定めること。
- ウ 契約の締結にあたっては、契約書等に設計図書を袋とし、割印をすること。ただし、図面が大型等の場合にあっては、別冊とすること。

#### (2) 提出書類関係

- ア 委託代金内訳書 ~~要提出(契約締結後7日以内)~~  
提出不要
- イ 工程表 要提出(契約締結後7日以内)  
提出不要
- ウ 着手届 着手後5日以内に提出すること。
- エ 現場代理人及び主任技術者等届 契約までに現場代理人及び主任技術者等の経歴書も同時に提出すること。
- オ 下請負者届 下請負を発注の都度、提出すること。

カ 直 営 工 事 届 下請負を発注しない又はその予定がない場合は、遅滞なく提出すること。

(3) 監督員通知関係

監督員を2人以上置くこととした場合において、権限を分担させるときは、各監督員の権限の内容を別に通知する。

(4) 支給材料、貸与品関係

ア 支 給 材 料	あり	なし
イ 貸 与 品	あり	なし

(5) 条件変更等の関係

業務の施行に当たり、設計図書と現場の状態とが一致しないこと等の事実を発見したときは、単に事実関係のみでなく、設計図書の訂正に必要な資料、図面等を添付した書面で通知すること。

(6) 設計変更等の関係

必要により業務内容を変更する場合は、原則としてその必要が生じた都度契約変更の手続を行うが、軽微なものは監督員の指示により業務内容の変更を行い、これに伴う契約変更の手続は、履行期間の末に行う。

(7) 部分引渡し関係

部分引渡し指定部分	あり	なし
-----------	----	----

## 6. テクリスの登録について

受託者は、受注時又は変更時及び完了時において委託代金額が100万円以上の業務について、測量調査設計業務実績情報サービス(TECRIS)入力システムに基づき、監督員に登録内容の確認を受けた後に、(一財)日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

ただし、建築関係業務においては、対象外となる場合があるので監督員と協議すること。

また、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が受託者に届いた際には、直ちに監督員に提出しなければならない。

登録申請の期限は、次のとおりとする。

- (1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。
- (2) 完了時登録データの提出期限は、業務完了後10日以内とする。
- (3) 施行中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更データを提出しなければならない。
- (4) 変更時と完了までの間が10日間に満たない場合は、監督員の承諾を得て変更時の提出を省略できるものとする。

## 7. 下請負者について

下請負者を使用する場合には、市内業者を優先的に選定するように配慮すること。

## 8. 一括下請けの禁止について

受託者は、本業務の全部又は大部分を一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。

## 9. 技術的事項について (別紙)

## 業 務 委 託 仕 様 書

業 務 名	くりはまみんなの公園ほか地質調査業務
施 行 場 所	横須賀市久里浜 1 丁目 381 番 4 ほか
1. 履 行 期 間	
自	平成      年      月      日
至	平成 31 年      3 月      15 日
2. 業務内容は、別紙設計内訳書のとおり。	
3. 本業務の仕様は、別紙のとおり。	
4. 本業務の特記仕様書は、別紙のとおり。	

## 公園設計業務共通仕様書

### 総 則

#### (摘要範囲)

- 1 この共通仕様書は、本市の公園に係る調査、設計、計画及び解析に関する業務委託に適用する。
- 2 設計図書及び特記仕様書に記載された事項は、この共通仕様書に優先する。

#### (用語の定義)

指示、承諾、協議とは次の定義による。

- 1 指示とは、委託者側の発議により監督員が受託者に対し、監督員の所掌事務に関する方針、基準、計画などを示し実施させることをいう。
- 2 承諾とは、受託者の発議により請負者が監督員に報告し、監督員が了解することをいう。
- 3 協議とは、監督員と請負者が対等の立場で合議することをいう。

#### (業務計画)

受託者は、あらかじめ業務計画書を提出して承諾を得なければならない。

#### (業務主任技術者と編成)

- 1 受託者は、技術業務を行う班編成とその内容を作成し、監督員に提出して承諾を得なければならない。
- 2 業務主任技術者は、技術上の管理を行うに必要な能力と経験を有する技術者でなければならない。
- 3 業務主任技術者は、監督員の指示する一切の事項を処理するものとする。

#### (事務管理)

受託者は、業務実施にあたり別に定める摘示方書を遵守し、常に善良なる管理を行い、業務の方針及び条件について不明確な点がある場合、または改善の必要が認められる場合は、監督員と協議をしなければならない。

#### (打ち合わせ)

- 1 受託者は業務を円滑に遂行するために監督員の指示する箇所など必要な段階で、手戻りのないよう監督員と打ち合わせしなければならない。
- 2 共通仕様書、設計図書及び特記仕様書に記載されていない事項であっても技術上必要と認められるものについては、監督員と協議するものとする。

#### (現地調査の土地立ち入り等)

- 1 現地調査を実施するために国有地、または私有地に立ち入る場合は、関係法令に準拠し土地立ち入り等を行わなければならない。
- 2 現地調査の実施にあたり宅地又は、垣、もしくは柵等で囲まれた土地に立ち入る場合は、あらかじめその所有者に通知しなければならない。

#### (土地の使用)

受託者は、植物、垣、もしくは柵等の伐所又は土地もしくは工作物を一時使用する場合は、所有者の承諾を得てから行うものとする。

(官公庁等への手続き)

- 1 業務実施のため必要な関係官庁その他に対する諸手続きは、監督員と打ち合わせの上受託者の負担において迅速に処理しなければならない。
- 2 関係官公庁その他に対して交渉を要するとき、また交渉を受けた時は遅滞なくその旨を監督員に申出て協議する。

(資料等の交付及び返還)

- 1 受託者は、借用する事に定められた図面及びその他関係資料等を監督員に請求して交付を受けるものとする。
- 2 受託者は、交付された図面及び資料等は業務委託の完了後、ただちに返還しなければならない。

(成果品の作成)

受託者は設計及び解析業務の成果品の整理を行う場合は、事前にその内容について監督員と協議するものとする。

(検査)

- 1 受託者は特記仕様書あるいは、あらかじめ監督員の指示した箇所又は主要な作業段階の区切り目等には、監督員の確認を受けなければならない。
- 2 受託者は、既済部分検査及び完了検査を受ける場合には、あらかじめ成果品及び関係資料等を揃えておくものとし、業務主任技術者が検査を受けなければならない。

(成果品)

成果品はこの仕様書に定めるもののほか、特記仕様書によるものを提出する。また、成果品は可能な限り電子データで作成し提出すること。ファイル形式、電子媒体等については監督員の指示による。

(秘密の保持)

受託者は本業務内容及びその結果を監督員以外に公表、貸与又は使用してはならない。

なお、やむをえない場合には、文章により申請して監督員の承諾を得なければならない。

## 地 質 ・ 土 質 調 査

### 第1章機械ボーリング

#### 第1条目的

機械ボーリングは、主として土質及び岩盤を調査し地質構造や、地下水位を確認するとともに試料を採取し、あわせて原位置試験を実施するために行うことを目的とする。

#### 第2条土質の分類

土質の分類は、土質工学会の日本統一土質分類法によるものとする。

#### 第3条試験等

1. ボーリング機械は、回転式ボーリング機械を使用するものとし、所定の方向、深度に対して十分余裕のある能力をもつものでなければならない。

2. ボーリング位置及び深度数量

(1) ボーリングの位置・方向・深度・口径及び数量については設計図書又は、特記仕様書によるものとする。

(2) 現地におけるボーリング位置の決定は、原則として監督員の立会のうえ行うものとし、後日調査位置の確認ができるようにしなければならない。

3. 仮設

足場、やぐら等は作業の完了まで機械を安定に保ち、かつ試験器具類を正しく孔の中央に入れ得るよう十分堅固なものでなければならない。

4. 掘進

(1) 掘削は、地下水位の確認が出来る深さまで原則として無水掘りとする。

(2) 孔口はケーシングパイプ又は、ドライブパイプで保護するものとする。

(3) 崩壊性の地盤に遭遇して掘進が不可能になる恐れのある場合は、泥水の使用、もしくはケーシングパイプの挿入により孔壁の崩壊を防止しなければならない。

(4) 原位置試験、サンプリングの場合はそれに先立ち、孔底のスライムをよく排除するものとする。

(5) 掘進中は掘進速度、湧排水量、スライムの状態等に注意し、変化の状況を記録しなければならない。

(6) 未固結土でコアボーリングを行う場合には、土質に応じたサンプラーを用い、採取率を高めるように努めなければならない。

(7) 孔内水位は、毎作業日、作業開始前に観測し、観測日時を明らかにしておかなければならない。

(8) 岩盤ボーリングを行う場合は、原則としてダブルコアチューブを用いるものとし、コアチューブの種類は岩質に応じて適宜使い分けるものとする。

(9) コアチューブはコアの採取毎に水洗いして、残さを完全に除去しなければならない。

(10) 掘進中は孔曲がりの内容に留意し、岩質、割れ目、断層破碎帯、湧水、漏水等に

充分注意しなければならない。特に湧水については、その量のほか、必要があれば水位（被圧水のヘッド）を測定するものとする。

#### 5. 検尺

(1) 予定深度の掘進を完了する以前に調査の目的を達した場合、又は予定深度の掘進を完了しても調査の目的を達しない場合は、監督員と協議するものとする。

(2) ボーリング延長の検測は、調査目的を終了後、原則として監督員立会いのうえ、ロッドを挿入して行うものとする。

#### 第4条 成果品

成果品は、次のものを提出するものとする。

(1) 調査位置案内図・調査位置平面図・土質又は、地質断面図（着色を含む）・その他各種図面類

(2) 作業時の記録およびコアの観察によって得た事項は、ボーリング柱状図作成要領（案）に従い柱状図に整理し提出するものとする。

(3) 採取したコアは標本箱に収納し、調査件名・孔番号・深度等を記入し、提出しなければならない。尚、未固結の資料は、1m 毎又は各土層ごとに標本ビンに密封して収納するものとする。

(4) コア写真は、調査件名、孔番号、深度等を明示して、撮影（カラー）し、整理するものとする。

\*ボーリング柱状図作成要領（案）解説書（大臣官房技術調査室監修、昭和61年11月発行所（財）日本建設情報総合センター）

## 第2章 標準貫入試験

### 第1条 目的

標準貫入試験は、原位置における土の硬軟や、締めぐあいの相対値を知ることを目的とする。

### 第2条 試験等

1. 試験方法及び器具は、JIS A 1219 によるものとする。
2. 試験の開始深度は、設計図書又は特記仕様書によるものとする。
3. 打込完了後ロッドは1回転以上してからサンプラーを静かに引上げなければならない。
4. サンプラーの内容物は、スライムの有無を確認して採取長さを測定し、土質・色調・状態・混入物等を記録した後、保存しなければならない。

### 第3条 成果品

試験結果及び保存用試料は、JIS A 1219 及び「ボーリング柱状図作成要領（案）」に従って整理し提出するものとする。

### 第3章 サンプリング

#### 第1条 目的

乱さない試料のサンプリングは、室内試験に供する試料を、原位置における性状を変えることなく採取することを目的とする。

#### 第2条 採取法

1. サンプラーの選定は、原則として固定式ピストン式シンウォールサンプラー及びトリプルサンプラーにより行うものとし、事前に監督員の承諾を得るものとする。

#### 2. 採取法

(1) 固定式ピストン式シンウォールサンプラーによる。採取の方法は、JIS規格 T-1「固定式ピストン式シンウォールサンプラーによる土の乱さない試料の採取法」、トリプルサンプラーによる。採取の方法は準拠して行う。

#### 第3条 成果品

成果品は、次のものを提出するものとする。

(1) 採取位置・深さ

(2) 採取方法

(3) サンプリングの記録は、土質工学会報告用紙「サンプリングの記録」に準じて行う。



## 地質・土質調査仕様書

### (目的)

本業務は、くりはまみんなの公園ほかの計画・設計・施工に必要なため行うものである。

### (事務連絡)

本業務において、疑義を生じた場合は、本市監督員と協議をし、その指示に従うこと。また、業務遂行にともない本市監督員と連絡を密にし、遺漏なきよう行うものとする。

### (仕様)

本業務にあたっては、本市契約規則並びに本仕様書に準拠し行うものとする。

### (工程)

受託者は、本業務実施の前に予め本市監督員に工程の承認を受けなければならない。

### (立入り許可)

- 1 受託者は、現場調査に際して常に安全に注意し、公衆に迷惑を及ぼすなどの行為をしてはならない。
- 2 受託者は、調査中民有地等に立ち入る際には、必ず地主及び関係者の許可を得た後、立ち入るものとする。
- 3 受託者は、現地において私（公的）物件に損傷を与えぬよう注意し、万一損傷を与えた場合は、受託者の負担において処理するものとする。

### (準備)

本業務にあたり、伐開及び私（公的）物件の一時移動の必要が生じた場合は、必ずその旨地主及び関係者の了解を得た後、行うものとする。

### (業務内容の協議)

受託者は、本業務の趣旨・内容・目的等を把握し、現場において必要と思われる調査項目（事項）が生じた場合は、速やかに本市監督員と協議をし、その指示に従うものとする。

### (位置の確認)

調査箇所については、本市監督員の確認を受けるものとする。

### (試験方法)

試験（調査）方法は、日本工業規格（J I S）等に基づき行うことを原則とする。

### (記録写真)

- 1 本業務において、調査前・調査中・調査後の写真（カラー）は必ず撮影し、報告書と共に提出するものとする。

### (資料及び成果品の納入)

本業務は、別に定める成果品（報告書・土質標本等）の納入をもって、完了したものとする。

## 成果品報告書（地質・土質調査）

成果品は、2部（A4判）提出すること。

### 調査報告書

- 1 調 査 概 要
- 2 地 質 概 要
- 3 調 査 位 置 図
- 4 土 質 柱 状 図
- 5 土 質 試 験 結 果 集
- 6 現 場 写 真
- 7 そ の 他

注：1 成果品の電子データを提出すること。  
電子納品の形態は、監督員の指示によること。

## 特記仕様書

本特記仕様書は『くりはまみんなの公園ほか地質調査業務』に適用する。

- 1、運搬費のうち、現場発生品・支給品運搬（2.0 t 吊りクレーン付き 14.0km 以下）を往復 2 台分見込んでいるが、現場の状況等により変更が生じた場合は、別途協議するものとする。  
また、本業務の調査業務は、敷地内での作業のため、敷地内小運搬として、運搬費のうち、現場発生品・支給品運搬（2.0 t 吊りクレーン付き 2.0km 以下）を 19 回見込んでいる。
  - 2、運搬費のうち、ライトバン運転（1500cc、運転時間 2 時間）を 61 日見込んでいる。現場の状況等により変更が生じた場合は、別途協議するものとする。
  - 3、交通誘導警備員については、警備業法による警備員とし、配置場所については監督員と協議すること。なお、警備員は 1 人配置を資機材搬入・搬出時・孔間資機材移動時・作業時の（警備員は 1 人配置を資機材搬入・搬出時の 4 日）61 日見込んでいる。なお、現場の実情及び地元や交通管理者との協議等により、交通誘導員の配置に変更が生じた場合には、別途協議するものとする。
  - 4、資機材の保管及び仮置き  
資機材等の保管場所については、別途、市及び指定管理者と協議すること。
  - 5、ボーリングは同時に 2 か所施工を見込んでいるが、現場の状況等により変更可能な場合は、別途協議するものとする。
-

## 個人情報の取扱いに関する特記事項

(個人情報を取り扱う際の基本的事項)

第1条 受託者（以下「乙」という。）は、個人情報の保護の重要性を認識し、業務に関して個人情報を取り扱うときは、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適正に取り扱わなければならない。

(適正な管理)

第2条 乙は、個人情報の漏えい、滅失、改ざん、き損及びその他の事故を未然に防止するため必要な措置を講じなければならない。

2 乙は、個人情報の取扱いに関する責任体制を整備し、管理責任者を定めなければならない。

3 乙は、個人情報の保管にあたっては、この契約による業務により取得した個人情報とそれ以外の個人情報を明確に区分し、管理しなければならない。

(管理責任者等の教育及び研修)

第3条 乙は、個人情報の保護及び情報セキュリティに対する意識の向上を図るため、管理責任者及び従事者に対し、横須賀市個人情報保護条例第14条（受託者等の責務）、第32条及び第33条（罰則）の内容並びに本特記事項において従事者が遵守すべき事項その他この契約による業務の適切な履行に関し必要な事項について、教育及び研修を実施しなければならない。

(秘密の保持)

第4条 乙は、個人情報の内容を第三者に漏らしてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

2 乙は、この契約による業務の処理の従事者が個人情報を管理責任者の承諾を得ることなく事務所以外の場所に持ち出し、又は不適切な取扱いにより第三者に漏らすことのないように、必要かつ適切な監督を行わなければならない。

(収集の制限)

第5条 乙は、この契約による業務を処理するため個人情報を収集するときは、その目的を明確にし、当該目的の達成に必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。

(目的外利用等の禁止)

第6条 乙は、委託者（以下「甲」という。）の指示又は承諾があるときを除き、この契約による業務の目的以外の目的に個人情報を利用し、又は第三者に提供してはならない。

(複写等の禁止)

第7条 乙は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、業務を実施するために甲から提供された個人情報を複写し、又は複製してはならない。

(資料等の返還)

第8条 乙は、この契約による事務を処理するために甲から貸与され、又は乙が収集し、複製し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、この契約が終了し、又は解除された後直ちに甲に返還し、又は引き渡し、若しくは消去しなければならない。ただし、甲が別に指示したときは、当該方法によるものとする。

2 乙は、前項の規定により電子記録媒体に記録された個人情報を消去する場合は、当該個人情報が復元できないように確実に消去しなければならない。

3 乙は、前項の規定により個人情報を消去した場合は、当該個人情報を消去した旨の報告書を甲に提出しなければならない。

(再委託の禁止等)

第9条 乙は、個人情報の処理を自ら行うものとし、第三者にその処理を委託（以下「再委託」という。）してはならない。ただし、書面により甲の承諾を得た場合は、この限りでない。

2 乙は、個人情報の処理を再委託する場合及び再委託の内容を変更する場合は、あらかじめ次の各号に規定する事項を記載した書面を甲に提出し、前項ただし書きの承諾を得なければならない。

- (1) 再委託の相手方
- (2) 再委託を行う業務の内容
- (3) 再委託で取り扱う個人情報
- (4) 再委託の期間
- (5) 再委託が必要な理由
- (6) 再委託の相手方における責任体制及び管理責任者
- (7) その他甲が必要と認める事項

3 乙は、前項の規定により個人情報を取り扱う事務を再委託の相手方（以下「再受託者」という。）に取り扱わせる場合には、乙と再受託者との契約内容に関わらず、再受託者の当該事務に関する行為について責任を負うものとする。

4 乙は、再委託契約において、再受託者に対する監督及び個人情報の安全管理の方法について具体的に指示しなければならない。

5 乙は、この契約による業務を再委託した場合は、その履行を監督するとともに、甲の求めに応じて、再受託者の状況等を報告しなければならない。

(立入調査等)

第10条 甲は、個人情報を保護するために必要な限度において、乙に対し、個人情報を取り扱う事務について管理状況の説明若しくは資料の提出を求め、又は乙の事務所に立ち入ることができる。

2 乙は、甲から個人情報の取扱いに関して改善を指示されたときは、その指示に従わなければならない。

(事故発生時等における報告)

第11条 乙は、個人情報の漏えい、滅失、き損及び改ざん等の事故（以下「漏えい事故」という。）が生じ、又は生ずるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従わなければならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

2 乙は、漏えい事故が生じた場合、当該事故の被害を最小限にするため、甲と協力して必要な措置を講じ、かつ、甲の指示に従わなければならない。

(補則)

第12条 乙は、この契約における個人情報の取扱いについて疑義が生じたときは、甲と協議し、その指示に従わなければならない。

くりはまみんなの公園ほか地質調査業務

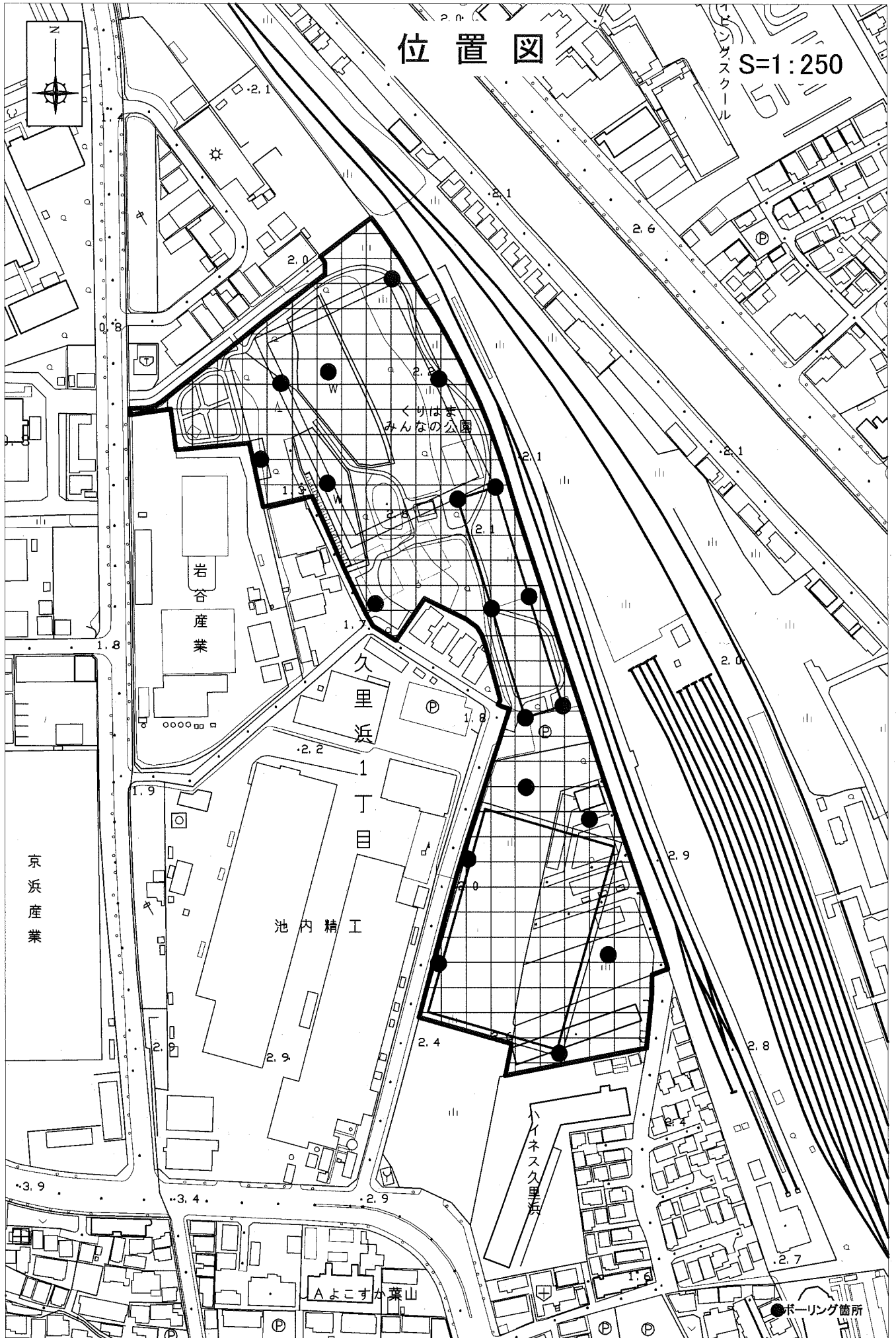
工種	細別	数量計算	単位	数量
地質調査業務				
地質調査業務費				
地盤調査			式	1.0
機械ボーリング				
土質ボーリング			式	1.0
	土質ボーリング	φ116mm 50m以下 鉛直下方 45 m× 1 孔	m	45.0
	土質ボーリング	φ86mm 50m以下 鉛直下方 45 m× 5 孔	m	225.0
	土質ボーリング	φ66mm 50m以下 鉛直下方 45 m× 8 孔	m	510.0
	土質ボーリング	φ66mm 50m以下 鉛直下方 30 m× 5 孔	m	
岩盤ボーリング				
	岩盤ボーリング	φ66mm 50m以下 鉛直下方 5 m× 14 孔	m	70.0
サンプリング			式	1.0
	シンウォールサンプリング		本	5
	トリプルサンプリング		本	1
サウンディング及び遊位置試験				
標準貫入試験			式	1.0
	標準貫入試験	粘性質・シルト 30 m× 5 孔 45 m× 14 孔	回	780.0
	標準貫入試験	軟岩 5 m× 14 孔	回	70.0
孔内水平載荷試験				
	孔内水平載荷試験		回	5
室内試験(土質試験)			式	1.0
土粒子の密度試験				
	土粒子の密度	1試料3個 × 9 孔	試料	9
土の含水比試験				
	土の含水比試験	1試料3個 × 9 孔	試料	9
土の液性限界試験				
	土の液性限界試験	1試料4~6点 × 9 孔	試料	9
土の塑性限界試験				
	土の塑性限界試験	1試料3個 × 9 孔	試料	9
土の湿潤密度試験				
	土の湿潤密度試験	A法(ノギス法) 1試料3個 × 9 孔	試料	9
土の圧密試験				
	土の圧密試験	段階載荷 1試料1供試体 × 9 孔	試料	9
土の一軸圧縮試験				
	土の一軸圧縮試験	乱さない試料 1試料2供試体 × 5 孔	試料	5
土の三軸圧縮試験				
	三軸圧縮試験	非圧密非排水 × 1 孔	組	1
その他試験				
	土砂検定費	1~28項目一括実施 × 3 孔	検体	3
電子成果品作成費			式	1.0
電子成果品作成費			式	1.0

くりはまみんなの公園ほか地質調査業務

工種	細別	数量計算	単位	数量
間接調査費				
運搬費			式	1.0
資機材運搬		クレーン装置付き 積載質量2t 吊能力2.0t吊 片道運搬距離14km以下		
	現場発生品・支給品運搬	往復×2回 4回	回	4
資機材運搬		クレーン装置付き 積載質量2t 吊能力2.0t吊 片道運搬距離2km以下		
	現場発生品・支給品運搬	(グラウンド内小運搬) 19回	回	19
人員輸送				
	ライトバン	1500cc 運転時間2時間 61日	日	61
準備費				
準備及び跡片付け			式	1.0
	準備及び跡片付け		業務	1
	環境保全	仮囲い	箇所	17
	調査孔閉塞		箇所	19
仮設費				
足場仮設			式	1.0
	平坦地足場	ボーリング深度50m以下	箇所	17
	水上足場	ボーリング深度50m以下	箇所	2
安全費				
交通誘導員			式	1.0
	交通誘導警備員B	昼間勤務 61日×1人	人日	61
地質調査(解析)業務				
解析等調査業務費				
地盤解析				
解析等調査業務			式	1.0
既存資料の収集・現地調査	既存資料の収集・現地調査	土質ボーリング 19本	業務	1
資料整理のまとめ(直接人件費)	資料整理のまとめ	土質ボーリング 19本	業務	1
断面図等の作成	断面図等の作成	土質ボーリング 19本	業務	1
総合解析とりまとめ	総合解析とりまとめ	土質ボーリング 試験種目数6~9種 19本	業務	1
	解析等調査業務打合せ	土質ボーリング 中間打合せ回数1回 19本	業務	1

# 位置図

S=1:250






平成 30 年度 設 計 積 算 書 表 紙 ( 当 初 )	
設 計 書 番 号	年度 30
事 業 所 名	横須賀市環境政策部
( 工 事 ・ 業 務 ) 名	くりはまみんなの公園ほか地質調査業務
( 工 事 ・ 業 務 ) 箇 所	横須賀市久里浜1丁目381番4ほか
( 河 川 ・ 路 線 ・ 区 域 ) 名	
単 価 採 用 地 区 名	横須賀
事 業 区 分	単費
工 期	平成 31 年 03 月 15 日 まで
設 計 金 額	( 円 )
	円
設 計 概 要	地質調査 1式
( 起 工 ・ 変 更 ) 理 由	

横須賀市

平成 30 年度 設 計 積 算 書 表 紙 ( 当 初 )

<支出科目>

款	土木費
項	都市計画費
目	公園新設改良費
節	委託料
細節	業務委託料[建設目]

<合併区分情報>

合併処理設定	しない	
	区 分 1	
	区 分 2	
	区 分 3	
	区 分 4	
	区 分 5	
	区 分 6	
	区 分 7	
	区 分 8	
	区 分 9	

<全体金額情報>

	当初官積算額 (a)	当初請負額(b1)	今回変更官積算額 (c)	今回変更請負額 (d)=(b1)/(a)×(c)	増減 (d)-(b1) or (b2)	備 考
		前回変更請負額(b2)				
業務費						
業務価格						
消費税等相当額						

平成 30 年度 積算諸条件調書 ( 当初 )

経費等情報	設計業務	委託先 / $\alpha$ 、 $\beta$		
		電子成果品作成費		
	測量業務	安全費率		
		電子成果品作成費		
	✓ 地質・土質調査業務	電子成果品作成費	計上する	
		施工管理費	計上する	
	✓ 地質・土質調査業務(解析)	委託先 / $\alpha$ 、 $\beta$	建設コンサルタント / $\alpha=35\%$ 、 $\beta=35\%$	
	港湾測量業務	技術経費率		
	港湾磁気探査業務	技術経費率		
	業務委託	諸経費率		
技術経費率				
設計業務等標準積算基準書 適用年版		平成30年7月1日適用		
資材等単価表 適用年版		平成30年7月1日基準		
積算数量等情報	名称	採用数量	単位	備考
	交通誘導警備員B	61	人日	

(その他情報欄)



# 本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前回 下段：今回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
地質調査業務							
地質調査業務費			1	式			
地盤調査			1	式			
機械ボーリング			1	式			第 3001 号 内訳書
サンプリング			1	式			第 3002 号 内訳書
サウンディング及び原位置試験			1	式			第 3003 号 内訳書
室内試験（土質試験）			1	式			第 3004 号 内訳書
電子成果品作成費（率計上額）			1	式			
直接調査費計			1	式			
間接調査費			1	式			
運搬費			1	式			第 3910 号 内訳書
準備費			1	式			第 3915 号 内訳書
仮設費			1	式			第 3920 号 内訳書

# 本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前 回 下段：今 回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
安全費							第 3930 号 内訳書
			1	式			
施工管理費(率計上額)							
			1	式			
間接調査費計							
			1	式			
(直接調査費+間接調査費)計							
			1	式			
諸経費							
			1	式			
地質調査業務価格							
			1	式			
地質調査(解析)業務							
解析等調査業務費							
			1	式			
地盤解析							
			1	式			
解析等調査業務(直接人件費)							第 4001 号 内訳書
			1	式			
直接原価計							
			1	式			
その他原価							
			1	式			

# 本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前 回 下段：今 回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
一般管理費等							
			1	式			
地質調査（解析）業務価格							
			1	式			
合計業務価格							
			1	式			
消費税及び地方消費税相当額							
			1	式			
業務委託料							
			1	式			

第3001号 内訳書  
機械ボーリング

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0010) 土質ボーリング					第3001号下内
	1	式			
(AMA0020) 岩盤ボーリング					第3002号下内
	1	式			
合 計					

第3002号 内訳書  
サンプリング

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0030) サンプリング					第3003号下内
	1	式			
合 計					

第3003号 内訳書  
サウンディング及び原位置試験

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0040) 標準貫入試験					第3004号下内
	1	式			
(AMA0050) 孔内水平載荷試験					第3005号下内
	1	式			
合 計					



第3004号 内訳書  
室内試験（土質試験）

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0070) 土粒子の密度試験	1	式			第3006号下内
(AMA0080) 土の含水比試験	1	式			第3007号下内
(AMA0090) 土の液性限界試験	1	式			第3008号下内
(AMA0100) 土の塑性限界試験	1	式			第3009号下内
(AMA0110) 土の湿潤密度試験	1	式			第3010号下内
(AMA0120) 土の圧密試験	1	式			第3011号下内
(AMA0130) 土の一軸圧縮試験	1	式			第3012号下内
(AMA0230) 三軸圧縮試験	1	式			第3013号下内
(AMA0240) その他試験	1	式			第3014号下内
合 計					

第3910号 内訳書  
運搬費

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0140) 資機材運搬					第3015号下内
	1	式			
(AMA0150) 人員輸送					第3016号下内
	1	式			
合 計					

第3915号 内訳書  
準備費

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0160) 準備及び跡片付け					第3017号下内
	1	式			
合 計					

第3920号 内訳書  
仮設費

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0170) 足場仮設					第3018号下内
	1	式			
合 計					

第3930号 内訳書  
安全費

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0180) 交通誘導員					第3019号下内
	1	式			
合 計					

第4001号 内訳書

1 式

解析等調査業務（直接人件費）

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0190) 既存資料の収集・現地調査（直接人件費）	1	式			第4001号下内
(AMA0200) 資料整理とりまとめ（直接人件費）	1	式			第4002号下内
(AMA0210) 断面図等の作成（直接人件費）	1	式			第4003号下内
(AMA0220) 総合解析とりまとめ（直接人件費）	1	式			第4004号下内
合 計					

第3001号 下位内訳書  
AMA0010 土質ボーリング

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DI35000) 土質ボーリング					第3001号単価表
J01=φ116mm, J02=粘性土・シルト, J03=50m以下, J04=鉛直下方	45	m			
(DI35000) 土質ボーリング					第3002号単価表
J01=φ86mm, J02=粘性土・シルト, J03=50m以下, J04=鉛直下方	225	m			
(DI35000) 土質ボーリング					第3003号単価表
J01=φ66mm, J02=粘性土・シルト, J03=50m以下, J04=鉛直下方	510	m			
合 計					
	1	式			円/式

第3002号 下位内訳書  
AMA0020 岩盤ボーリング

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DI35010) 岩盤ボーリング					第3004号単価表
J01=φ66mm, J02=軟岩, J03=50m以下, J04=鉛直下方	70	m			
合 計					
	1	式			円/式

第3003号 下位内訳書  
AMA0030 サンプルリング

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DI35020) シノウオールサンプリング	5	本			第3005号単価表
(DI35040) トリプルサンプリング	1	本			第3006号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第3004号 下位内訳書  
AMA0040 標準貫入試験

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DI35050) 標準貫入試験	780	回			第3007号単価表
J01=粘性土・シルト					
(DI35050) 標準貫入試験	70	回			第3008号単価表
J01=軟岩					
合 計					
	1	式			円/式

第3005号 下位内訳書  
AMA0050 孔内水平載荷試験

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DI35060) 孔内水平載荷試験	5	回			第3009号単価表
J01=普通載荷(2.5MN/m2以下)					
合 計					
	1	式			円/式

第3006号 下位内訳書  
AMA0070 土粒子の密度試験

1 式 当り  
適用年版 S3007  
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z307020010) -00001 土粒子の密度 1資料3個	9	試料			
合 計					
	1	式			円/式

第3007号 下位内訳書  
AMA0080 土の含水比試験

1 式 当り  
適用年版 S3007  
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z307020020) -00002 土の含水比試験 1試料3個	9	試料			
合 計					
	1	式			円/式

第3008号 下位内訳書  
AMA0090 土の液性限界試験

1 式 当り  
適用年版 S3007  
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z307020040) -00003 土の液性限界試験 1試料4~6点	9	試料			
合 計					
	1	式			円/式

第3009号 下位内訳書  
 AMA0100 土の塑性限界試験

1 式 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z307020050) -00005 土の塑性限界試験 1試料3個	9	試料			
合 計					
	1	式			円/式

第3010号 下位内訳書  
 AMA0110 土の湿潤密度試験

1 式 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z307020060) -00008 土の湿潤密度試験 1試料3個 A法	9	試料			
合 計					
	1	式			円/式

第3011号 下位内訳書  
 AMA0120 土の圧密試験

1 式 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z307020110) -00006 土の圧密試験 段階載荷 1試料1供試体	9	試料			
合 計					
	1	式			円/式

第3012号 下位内訳書  
AMA0130 土の一軸圧縮試験

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z307020080) -00007 土の一軸圧縮試験 1試料2供試体 乱さない試料	5	試料			
合 計					
	1	式			円/式

第3013号 下位内訳書  
AMA0230 三軸圧縮試験

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z307020090) -00009 三軸圧縮試験 非圧密非排水	1	組			
合 計					
	1	式			円/式

第3014号 下位内訳書  
AMA0240 その他試験

1 式 当り  
適用年版 S3007

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z149040200) 土砂検定費 (溶出28項目) 1～28項目一括実施 (別表-1)	3	検体			
合 計					
	1	式			円/式



第3015号 下位内訳書  
 AMA0140 資機材運搬

1 式 当り  
 適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB010410) 現場発生品・支給品運搬					第3010号単価表
J01=クレーン装置付2t級2t吊, J02=14.0km以下, J03=1.5t超2.0t以下	4	回			
(CB010410) 現場発生品・支給品運搬					第3011号単価表
J01=クレーン装置付2t級2t吊, J02=2.0km以下, J03=1.5t超2.0t以下	19	回			
合 計					
	1	式			円/式

第3016号 下位内訳書  
 AMA0150 人員輸送

1 式 当り  
 適用年版 S3007

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0010) ライトバン運転 1500cc					第3012号単価表
		日			
合 計					
	1	式			円/式

第3017号 下位内訳書  
 AMA0160 準備及び跡片付け

1 式 当り  
 適用年版 S3007

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DI35210) 準備及び跡片付け	1	業務			第3013号単価表
(DI35230) 環境保全	17	箇所			第3014号単価表
(DI35240) 調査孔閉塞	19	箇所			第3015号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第3018号 下位内訳書  
 AMA0170 足場仮設

1 式 当り  
 適用年版 S3007

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DI35170) 平坦地足場	17	箇所			第3016号単価表
J01=50m以下, J02=高さ0.3m以下					
(DI35200) 水上足場	2	箇所			第3017号単価表
J01=水深3m以下, J02=50m以下					
合 計					
	1	式			円/式

第3019号 下位内訳書  
AMA0180 交通誘導員

1 式 当り  
適用年版 S3007  
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB010212) 交通誘導警備員B		人日			第3018号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第4001号 下位内訳書  
AMA0190 既存資料の収集・現地調査（直接人件費）

1 式 当り  
適用年版 S3007  
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DI35260) 既存資料の収集・現地調査 直接人件費〈 J01=土質ボ-リング, J02=19 本	1	業務			第4001号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第4002号 下位内訳書  
AMA0200 資料整理とりまとめ（直接人件費）

1 式 当り  
適用年版 S3007  
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DI35270) 資料整理取りまとめ 直接人件費〈解析等 J01=土質ボ-リング, J02=19 本	1	業務			第4002号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第4003号 下位内訳書  
AMA0210 断面図等の作成 (直接人件費)

1 式 当り  
適用年版 S3007  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DI35290) 断面図等の作成 直接人件費 (解析等調査業)					第4003号単価表
J01=土質ボ-リンク, J02=19 本	1	業務			
合 計					
	1	式			円/式

第4004号 下位内訳書  
AMA0220 総合解析とりまとめ (直接人件費)

1 式 当り  
適用年版 S3007  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DI35310) 総合解析とりまとめ 直接人件費 (解析等調)					第4004号単価表
J01=土質ボ-リンク, J02=19 本, J03=6~9種	1	業務			
(DI35330) 解析等調査業務打合せ					第4005号単価表
J01=標準, J02=回	1	業務			
合 計					
	1	式			円/式

第3001号 単価表  
DI35000 土質ボーリング

1 m 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z148030110) 土質ボーリング φ116mm粘性土・シルト	1	m			
合 計					
	1	m			円/m
条 件 名 称		入 力 値		条 件 値	
J01 孔径区分		3	φ116mm		
J02 土質区分		1	粘性土・シルト		
J03 せん孔深度		1	50m以下		
J04 せん孔方向		1	鉛直下方		

第3002号 単価表  
DI35000 土質ボーリング

1 m 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z148030060) 土質ボーリング φ86mm粘性土・シルト	1	m			
合 計					
	1	m			円/m
条 件 名 称		入 力 値		条 件 値	
J01 孔径区分		2	φ86mm		
J02 土質区分		1	粘性土・シルト		
J03 せん孔深度		1	50m以下		
J04 せん孔方向		1	鉛直下方		

第3003号 単価表  
DI35000 土質ボーリング

1 m 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z148030010) 土質ボーリング φ 66 mm粘性土・シルト	1	m			
合 計					
	1	m			円/m
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 孔径区分	1	φ 66mm			
J02 土質区分	1	粘性土・シルト			
J03 せん孔深度	1	50m以下			
J04 せん孔方向	1	鉛直下方			

第3004号 単価表  
DI35010 岩盤ボーリング

1 m 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z148030160) 岩盤ボーリング φ 66 mm軟岩	1	m			
合 計					
	1	m			円/m
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 孔径区分	1	φ 66mm			
J02 岩盤区分	1	軟岩			
J03 せん孔深度	1	50m以下			
J04 せん孔方向	1	鉛直下方			

第3005号 単価表  
DI35020 シンウォールサンプリング

1 本 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z148030280) シンウォールサンプリング 軟弱な粘性土	1	本			
合 計					
	1	本			円/本

第3006号 単価表  
DI35040 トリプルサンプリング

1 本 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z148030300) トリプルサンプリング 砂質土	1	本			
合 計					
	1	本			円/本

第3007号 単価表  
DI35050 標準貫入試験

1 回 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z148030310) 標準貫入試験 粘性土・シルト	1	回			
合 計					
	1	回			円/回
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
I01 試験区分	1		粘性土・シルト		

第3008号 単価表  
DI35050 標準貫入試験

1 回 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z148030360) 標準貫入試験 軟岩	1	回			
合 計					
	1	回			円/回
条 件 名 称		入 力 値		条 件 値	
T01 試験区分		6		軟岩	

第3009号 単価表  
DI35060 孔内水平載荷試験

1 回 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z148030370) 孔内水平載荷試験 普通載荷	1	回			
合 計					
	1	回			円/回
条 件 名 称		入 力 値		条 件 値	
T01 試験区分		1		普通載荷(2.5MN/m <sup>2</sup> 以下)	



名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
トラック[クレーン装置付] ペーパトラック2t級 吊能力2.0t	M000302009		【損料】		M000302009
運転手(特殊)	R0114				R0114
普通作業員	R0102				R0102
軽油 1.2号	Z006702002				Z006702002
標準単価		積算単価			
	1 回	当り		円/回	
条件名称	入力値	条件値			
J01 トラック機種	1	クレーン装置付2t級2t吊			
J02 片道運搬距離(km)	4	14.0km以下			
J03 1回当り平均積載質量(t)	8	1.5t超2.0t以下			

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
トラック【クレーン装置付】			【損料】		M000302009
ベ-トラック2t級 吊能力2.0t	M000302009				
運転手(特殊)					R0114
	R0114				
普通作業員					R0102
	R0102				
軽油					Z006702002
1.2号	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 回	当り		円/回	
条件名称	入力値		条件値		
J01 トラック機種	1		クレーン装置付2t級2t吊		
J02 片道運搬距離(km)	1		2.0km以下		
J03 1回当り平均積載質量(t)	8		1.5t超2.0t以下		

第3012号 単価表  
 SJ0010 ライトバン運転  
 1500 c c

1 日 当り  
 適用年版 S3007  
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z006704001) ガソリン レギュラー	5.2	L			
(Z345100100) ライトバン 1500CC 運転1時間当り 9欄	2	時間			
(Z345110100) ライトバン 1500CC 供用1日当り 11欄	1	日			
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)	1	式			
合 計					
	1	日			整数止め切捨て 円/日

第3013号 単価表  
 DI35210 準備及び跡片付け

1 業務 当り  
 適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z148030770) 準備及び跡片付け	1	業務			
合 計					
	1	業務			円/業務

第3014号 単価表  
DI35230 環境保全

1 箇所 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z148030790) 環境保全	1	箇所			
合 計					
	1	箇所			円/箇所

第3015号 単価表  
DI35240 調査孔閉塞

1 箇所 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z148030800) 調査孔閉塞	1	箇所			
合 計					
	1	箇所			円/箇所

第3016号 単価表  
DI35170 平坦地足場

1 箇所 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z148030680) 平坦地足場 板材足場 0.3m以下	1	箇所			
合 計					
	1	箇所			円/箇所
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 ホールク深度区分	1		50m以下		
J02 規格区分	1		高さ0.3m以下		

第3017号 単価表  
DI35200 水上足場

1 箇所 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z148030740) 水上足場 水深3m以下	1	箇所			
合 計					
	1	箇所			円/箇所
条 件 名 称		入 力 値		条 件 値	
J01 規格区分		2	水深3m以下		
J02 ボーリング深度区分		1	50m以下		

第3018号 単価表  
WB010212 交通誘導警備員B

1 人日 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0804) 交通誘導警備員B		人			
合 計					
	1	人日			円/人日

第4001号 単価表  
DI35260 既存資料の収集・現地調査 直接人件費〈解析等調査業務費分〉

1 業務 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z148030820) 既存資料の収集・現地調査 直接人件費（解析等調査業務費分）	1	業務			
合 計					
	1	業務			円/業務
条 件 名 称		入 力 値		条 件 値	
J01 ボーリング区分		1	土質ボーリング		
J02 ボーリング本数(実数入力)		19	19本		

第4002号 単価表

DI35270

資料整理取りまとめ

直接人件費〈解析等調査業務費分〉

1

業務 当り

適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z148030830) 資料整理とりまとめ 直接人件費 (解析等調査業務費分)	1	業務			
合 計					
	1	業務			円/業務
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 ボーリング区分	1	土質ボーリング			
J02 ボーリング本数(実数入力)	19	19本			

第4003号 単価表

DI35290

断面図等の作成

直接人件費〈解析等調査業務費分〉

1

業務 当り

適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z148030850) 断面図等の作成 直接人件費 (解析等調査業務費分)	1	業務			
合 計					
	1	業務			円/業務
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 ボーリング区分	1	土質ボーリング			
J02 ボーリング本数(実数入力)	19	19本			

第4004号 単価表

DI35310

総合解析とりまとめ 直接人件費〈解析等調査業務費分〉

1 業務 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z148030870) 総合解析とりまとめ 直接人件費 (解析等調査業務費分)	1	業務			
合 計					
	1	業務			円/業務
条 件 名 称		入 力 値		条 件 値	
J01 ホールリンク区分		1	土質ホールリンク		
J02 ホールリンク本数(実数入力)		19	19本		
J03 試験種目数		3	6~9種		

第4005号 単価表

DI35330

解析等調査業務打合せ

1 業務 当り  
適用年版 S3007

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師		人			
(R0403) 技師 (A)		人			
(R0404) 技師 (B)		人			
合 計					
	1	業務			円/業務
条 件 名 称		入 力 値		条 件 値	
J01 中間打合せの回数		1	標準		
J02 中間打合せの回数(実数入力)			回		

